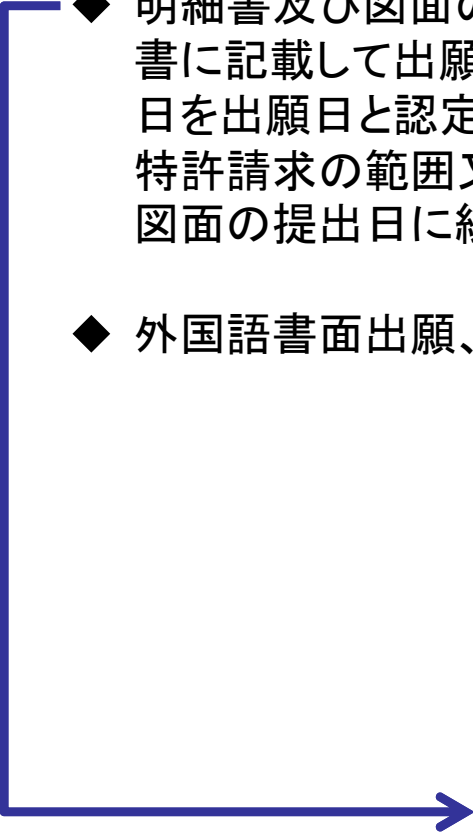


平成27年特許法改正等に伴う 「先願参照出願」の審査基準の新設案

1. 特許法改正

特許法第38条の3(先願参照出願)

- ◆ 明細書及び図面の添付に代えて、過去に出願した特許出願(先の出願)の出願番号等を願書に記載して出願を行い、後日、明細書及び図面を提出すれば、原則として、願書の提出日を出願日と認定する。ただし、明細書及び図面に記載した事項が、先の出願の明細書、特許請求の範囲又は図面に記載した事項の範囲内でない場合は、出願日は、明細書及び図面の提出日に繰り下がる。
- ◆ 外国語書面出願、分割出願、変更出願及び実用新案登録に基づく出願には適用されない。



審査官による審査において、出願日の判断を行う。

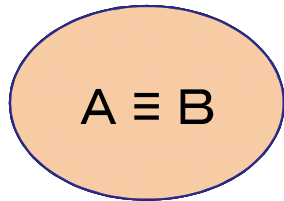
1. 特許法改正

先願参照出願における出願日の認定

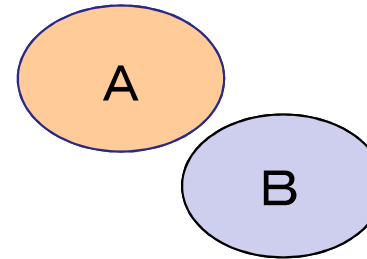
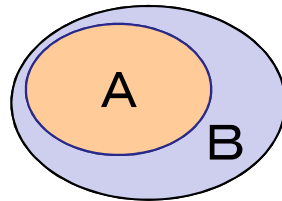
A : 先願参照出願の明細書又は図面に記載した事項
(補正された場合は、補正後の明細書及び図面に記載した事項)

B : 先の特許出願の願書に添付した明細書等に記載した事項

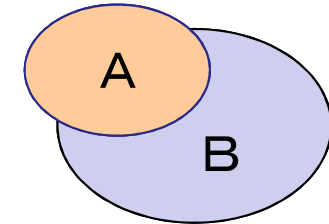
AとBの関係に応じて
出願日が変わる



AがBの範囲内である場合の出願日



AがBの範囲内でない場合の出願日



「先願参照出願」の審査基準の新設

「先願参照出願」の章を新設して、制度の概要、先願参照出願の要件及び効果、実体的要件についての判断（明細書及び図面に記載した事項が、先の出願の明細書、特許請求の範囲又は図面に記載した事項の範囲内かどうかの判断）並びに実体的要件についての判断に係る審査の進め方について記載し、実体的要件についての判断は、新規事項の追加の例による旨を記載してはどうか